

第27回萬葉の花の会へのお誘い

拝啓 今年梅雨明けが遅くて、季節の花も百日紅や桔梗へと移りますにも梅雨寒の続く今日この頃、会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本会はお陰様をもちまして27回を重ね、企画に加え毎回ご好評をいただいております「萬葉弁当」「萬葉の花ごよみ」(カレンダー)を準備し、皆様のご参加を心よりお待ちしております。皆様お誘い合わせの上、奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

なお、会場の都合上、募集人数を先着432名とさせていただきます。例年のお願いで誠に恐縮ではございますが、お早めのお申し込み並びにお取り消しのなきよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

1. 日時 令和元年9月6日(金) 9:40~15:10 (受付9:00)
1. 場所 國學院大學横浜たまプラーザキャンパス 1号館3階 講堂
横浜市青葉区新石川3-22-1 東急田園都市線たまプラーザ駅より徒歩5分
1. 申込方法 所定事項をご記入の上、**8月23日(金)迄に往復ハガキで下記へお申込みください。**
返信用ハガキが、「受講票」となりますので、お一人様につき1枚の往復ハガキでお申し込みください。往復はがきの料金は124円です。

往 宛先 〒150-8440
東京都渋谷区東4丁目10番28号 國學院大學気付 萬葉の花の会
【記入事項】 ①郵便番号・住所
②氏名(フリガナ)
③電話番号
④萬葉弁当の要・不要

復 宛先 返信先住所 ※裏面にも郵便番号を必ずご明記ください。
(お申し込みにあたり、頂戴した個人情報、「個人情報の保護に関する法律」に則り、萬葉の花の会からの案内状送付や会を運営するためにのみ使用し、第三者に提供することはありません。)

1. 会費 2,000円(学生1,500円)ただし、資料代・通信費を含む
(当日、受付にて頂戴いたします)

【ご注意】

※萬葉弁当代(1,000円)は受講票(返信ハガキ)をご提示の上、受付時にお支払いください。

※当日のお申し込み・お取り消し、電話でのお申し込み等は受け付けできませんのでご注意ください。

お問い合わせ先 國學院大學 神道研修事務課 内

TEL 03-5466-0155 担当:大久保

FAX 03-5466-0163

土日及び大学一斉休暇中(8/10~22)を除く9:00から17:00まで。

※大変恐縮ですが、先着順にて定員(432名)になり次第締め切らせていただきます。

※萬葉弁当をお申込みで無断欠席の場合は弁当代実費1,000円を後日ご請求申し上げます。

※駐車場や駐輪場がないため、自動車・自転車等での来校は
ご遠慮ください。

※講師・演題等詳細は裏面をご覧ください。



《 講 師・題 目 》

時 間	講 演 題 目 等	講 演 者
9:00		受 付 開 始
9:40 9:50	開会の挨拶	辰 巳 正 明 (本会会長・國學院大學名誉教授)
9:50 10:40	「令和」と梅花宴序—大宰府文学圏—	上 野 誠 (奈良大学教授)
11:00 11:50	萬葉の梅	湯 浅 浩 史 (一般財団法人進化生物学研究所理事長兼所長)
11:50 12:50	昼 食・萬葉の小径散策	
12:50 13:50	万葉の花—桜と梅と—	大 石 泰 夫 (國學院大學教授)
14:10 15:00	令和と梅花の宴	辰 巳 正 明 (本会会長・國學院大學元教授)
15:00 15:10	閉会の挨拶	武 智 浩 二 (本会副会長・國學院大學事務局長)

《 講 師 紹 介 》

「令和」と梅花宴序—大宰府文学圏—

【上 野 誠】(うえの まこと)

國學院大學文学部文学科卒(92期)・國學院大學大学院文学研究科博士課程後期文学専攻単位取得(98期)

◆博士(文学)・奈良大学教授

◆専 門…万葉挽歌の史的研究と万葉文化論／第12回日本民俗学会研究奨励賞受賞(平成4年、日本民俗学会)、第15回上代文学会賞受賞(平成10年、上代文学会)。全国大学国語国文学会常任委員・東アジア古代文化学会副会長・上代文学会理事・万葉学会編集委員・日本文学協会委員・民俗芸能学会編集委員・美夫君志会常任理事・古事記学会理事等、多くの学会に所属。

◆主要著書…『万葉文化論』ミネルヴァ書房・『折口信夫的思考—越境する民俗学者—』青土社・『古代日本の文芸空間—万葉挽歌と葬送儀礼』雄山閣出版・『美しい日本語が話せる 書ける 万葉ことば』幻冬舎・『万葉集から古代を読むとく』筑摩書房・『万葉手帳』東京書籍・『小さな恋の万葉集』小学館 等著書・論文多数

「萬葉の梅」

【湯 浅 浩 史】(ゆあさ ひろし)

兵庫農科大学(現・神戸大学)農学部卒業・東京農業大学大学院農学研究科修了

◆農学博士・東京農業大学元教授・一般財団法人進化生物学研究所理事長兼所長

◆専 門…民族植物学／生き物文化誌学会前会長

◆主要著書…『花の履歴書』講談社学術文庫

『ヒョウタン文化誌—人類とともに一万年』岩波書店

『花おりおり 全五巻』朝日新聞社

『植物でしたしむ、日本の年中行事』朝日新聞出版

『日本人なら知っておきたい四季の植物』ちくま新書 等著書・論文多数

「万葉の花—桜と梅と—」

【大 石 泰 夫】(おおいし やすお)

國學院大學文学部文学科卒(91期)・國學院大學大学院文学研究科博士課程後期文学専攻単位取得(97期)

◆博士(文学)・國學院大學文学部教授

◆専 門…日本古代文学・民俗学／上代文学会・萬葉学会・國學院大學国文学會・日本民俗学会等に所属

◆主要著書…『吉野の祭りと伝承』共著 おうふう 『萬葉集の民俗学』共著 おうふう

『芸能の〈伝承現場〉論—若者たちの民俗的学びの共同体』単著 ひつじ書房 等著書・論文多数

「令和と梅花の宴」

【辰 巳 正 明】(たつみ まさあき)

二松学舎大学文学部国文学科卒・成城大学大学院文学研究科国文学専攻博士課程単位取得

◆文学博士・國學院大學名誉教授

◆専 門…上代文学・東アジア比較文化論／上代文学会に所属

◆主要著書…『万葉集と比較詩学』おうふう

『詩の起源—東アジア文化圏の恋愛詩』笠間書院

『詩霊論—人はなぜ詩に感動するのか—』笠間書院

『折口信夫—東アジア文化と日本学の成立』笠間書院 等著書・論文多数

『みちのきち 私の一冊』(弘文堂) 価格1,800円

國學院大學みちのきちプロジェクトでは、本を身近に感じて欲しいという想いから、109名の方々に執筆いただき若者への道標となるような本と出会って欲しいと希望し『みちのきち 私の一冊』(弘文堂)を発行いたしました。

萬葉の花の会佐柳正三顧問が前回講師の野本寛一先生の著書『枳と餅—食の民俗構造を探る—』を紹介し、今回ご講演頂く奈良大学上野誠教授が折口信夫先生の『折口信夫全集1—古代研究(国文学編)』(中央公論社)をご紹介頂いております。花の会当日も販売する予定ですので、是非お手に取って頂ければ幸いです。